

2021 年度朝鮮族研究学会全国大会プログラム

2021 年 12 月 18 日（土）於：Zoom

言語：日本語、韓国語／朝鮮語（同時通訳なし）

09:30～10:00 午前の部の受付

10:00～10:05 開会

午前の部 会員報告

第一報告

10:05～10:35 報告者：鄭春美（宇都宮大学大学院 博士後期課程）

テーマ：高学歴中国朝鮮族の社会適応研究—韓国滞在朝鮮族を中心に

10:35～10:45 討論者：吳泰成（大阪経済法科大学 研究員）

10:45～10:55 質疑応答

第二報告

10:55～11:25 報告者：金雪（大阪経済法科大学 研究員）

テーマ：在日中国朝鮮族の生活実態に関する調査結果（2019）（仮）

11:25～11:35 討論者：玄善允（大阪経済法科大学 客員教授）

11:35～11:45 質疑応答

11:45～13:00 昼食

午後の部 特別セッション—在韓朝鮮族 30 年

13:00～13:30 午後の受付

13:30～14:30 基調講演（韓国語）：朴佑（韓国・漢城大学）

テーマ：재한 중국동포(조선족) 사회 30 년, 평가와 전망

14:30～15:00 パネリスト（日本語）：宣元錫（日本・中央大学）

テーマ：朝鮮族の韓国社会への編入モード

15:00～15:30 パネリスト（日本語）：孫ミギョン（韓国・北東アジア自治体連合）

テーマ：韓国映画の朝鮮族再現と朝鮮族コミュニティの対応

—ミッドナイト・ランナーを中心に—

15:30～15:50 コメンテーター（日本語）：姜光文（韓国・ソウル大学）

15:50～16:25 質疑応答

16:25～16:30 閉会

【特別セッション】

在韓朝鮮族の30年

趣旨説明：

来年2022年に韓中国交成立30周年を迎えようとしている。1980年代から始まった朝鮮族の韓国への移動は、1992年の韓中国交成立を契機に飛躍的に増加することとなった。そこで、朝鮮族の韓国への移動、そして在韓朝鮮族の30年を振り返る1つの区切りとなるこの時期に、それを振り返る機会を設けたい。

冷戦崩壊後、世界は「移動の時代」を迎えた。今日、朝鮮族は日本を含め世界各地に大量に国際移動しているが、冷戦時代における中朝間の移動を除くと、韓国へのそれが端緒であった。朝鮮族の韓国への移動は、移動・移住の送り出し地である中国国内の朝鮮族社会にとっては、どのような意味があり、同時に、移動・移住の受け入れ地である韓国社会にとっては、どのような意味があったのだろうか。この30年を振り返り、このような諸般の問いを改めて考える機会としたい。このような問いを考える切り口として、労働者、移民政策、国籍、コミュニティ、アイデンティティ、世代、家族、2世、教育、言語、社会保障等々、様々なキーワードが考えられる。基調講演者はもちろん、パネラーとしてご登壇いただく方々は、それぞれの専門分野から在韓朝鮮族の30年間に関心を寄せてきた研究者たちである。実りある議論となることを期待したい。

※新型コロナウイルスの影響を受け、2021年度朝鮮族研究学会理事会総会はメール審議により行う。

主催：朝鮮族研究学会 後援：全日本中国朝鮮族連合会教育・学術委員会 お問い合わせ
せ：chaoxianzu@hotmail.com